



2024年12月期第2四半期 決算説明資料

FIG株式会社 2024年8月9日





FUTURE INNOVATION GROUP



商号 | FIG株式会社 (Future Innovation Group, Inc.)
 設立 | 2018年7月2日
 ※グループ前身のモバイルクリエイト設立は2002年
 代表者 | 代表取締役社長 村井 雄司
 所在地 | 大分県大分市東大道二丁目5番60号
 従業員数 | 774名 (2023年12月末現在連結)



IP無線システム



携帯インフラを活用したIP無線システムのパイオニア。主力の車載タイプに加えて、防災市場ではハンディタイプが好調でLINE連携も展開。

タクシー配車システム

タクシー配車システム、車載端末はタブレット化でメーターと連動。配車室受託が好調で、ユーザー向けLINE配車もサービス開始。



ペイメント

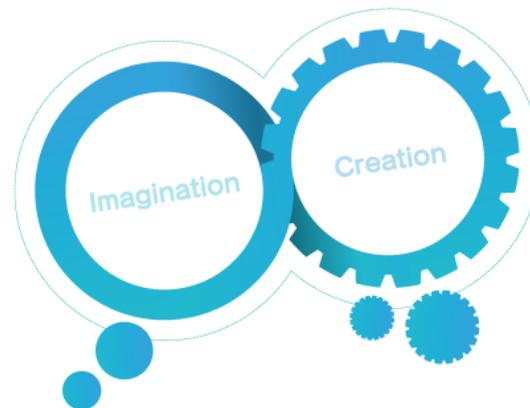
得意とする公共交通を中心にペイメントサービスを展開し、高いセキュリティ基準であるPCIDSSも取得。沖縄本島IC乗車券システムのOKICAは、商業拡張をスタート。



バスロケーションシステム



バスの経路や乗り継ぎ検索、接近情報などをバス利用者へ提供。バスロケーションシステムでは、国内トップレベルのシェア。デジタルサイネージや混雑情報システムなども展開。



半導体・自動車関連自動化装置

自動車部品を製造する装置を開発から設計・製造・組立・販売・サービスまでトータルで手掛け、メーカーとして高い評価を得ています。



ホテルスマート化



ビジネスホテルやシティホテル向け客室のマルチメディアシステム、リネンシステム（客室清掃管理）や施設混雑案内システムなどIoTを活用しています。

ロボット



マップデータを元に走行を行い、マニピュレータが人の代わりに作業を行います。ロボットシステムインテグレーターだけでなく、自社オリジナル搬送ロボットも開発。

ドローン



産業用ドローンの開発・販売を行っています。ドローン活用における省人化の実証実験にも参画しています（ドローン宅配・スマート農業・血液検体の輸送など）。

01 | **2024年12月期第2四半期決算概要**

02 | **事業のトピックス**

03 | **転換社債と新株予約権の発行**

04 | **補足資料**

01 | 2024年12月期第2四半期決算概要

2Q業績は期初予想を未達、下半期より受注回復を見込む

FY2023

FY2024 2Q

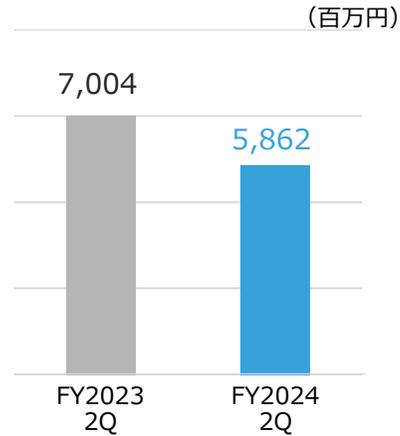
FY2025

- 01 | メインのIP無線、モビリティ関連サービス、決済サービスは好調
- 02 | ホテル関連サービスは苦戦ながら、マルチメディアシステムの新市場を開拓
- 03 | 半導体市場の在庫調整局面からの回復はまだら模様で、下半期からの受注回復を見込む
- 04 | ロボット関連は、FA・物流倉庫など自動化市場向けに新規顧客開拓と制御の高度化をすすめる

売上高

58.6 億円

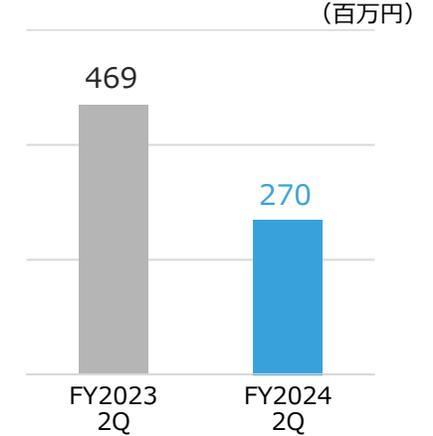
前年同期比：△16.3%



営業利益

2.7 億円

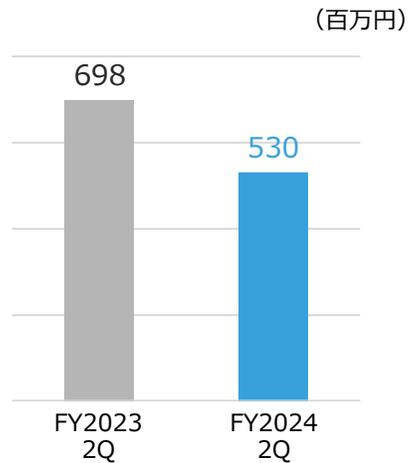
前年同期比：△42.4%



EBITDA

5.3 億円

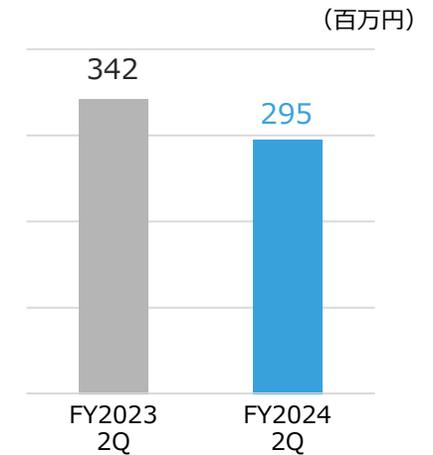
前年同期比：△24.0%



最終利益

2.9 億円

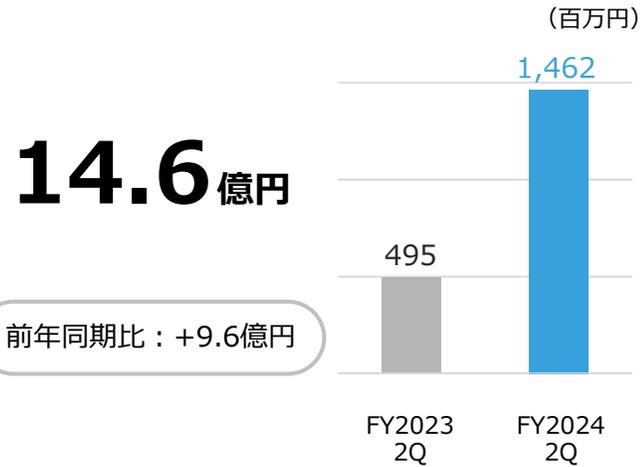
前年同期比：△13.8%



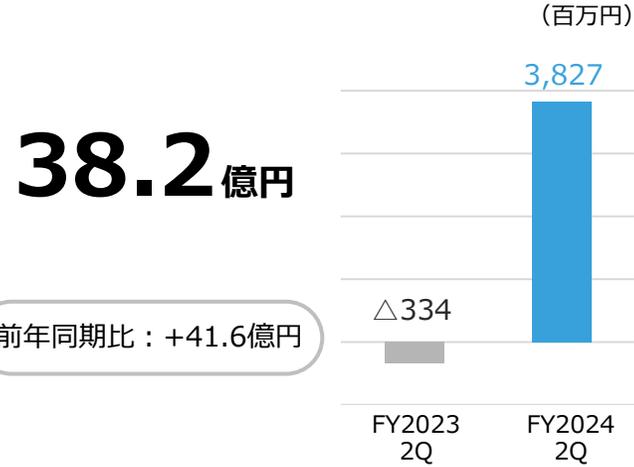
※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

※最終利益 = 親会社株主に帰属する当期（中間）純利益

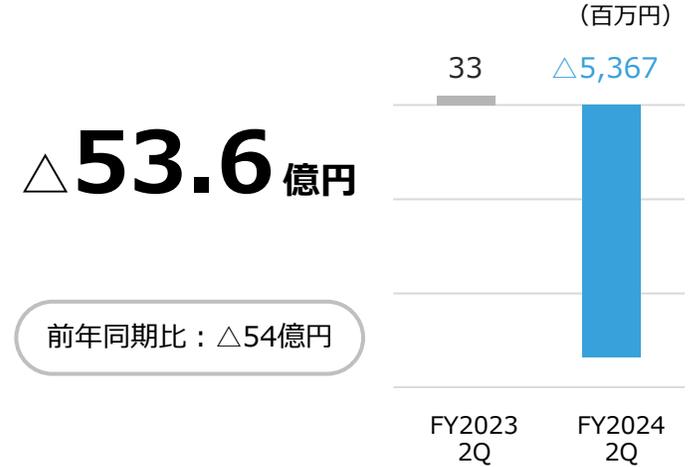
営業C/F



投資C/F



財務C/F



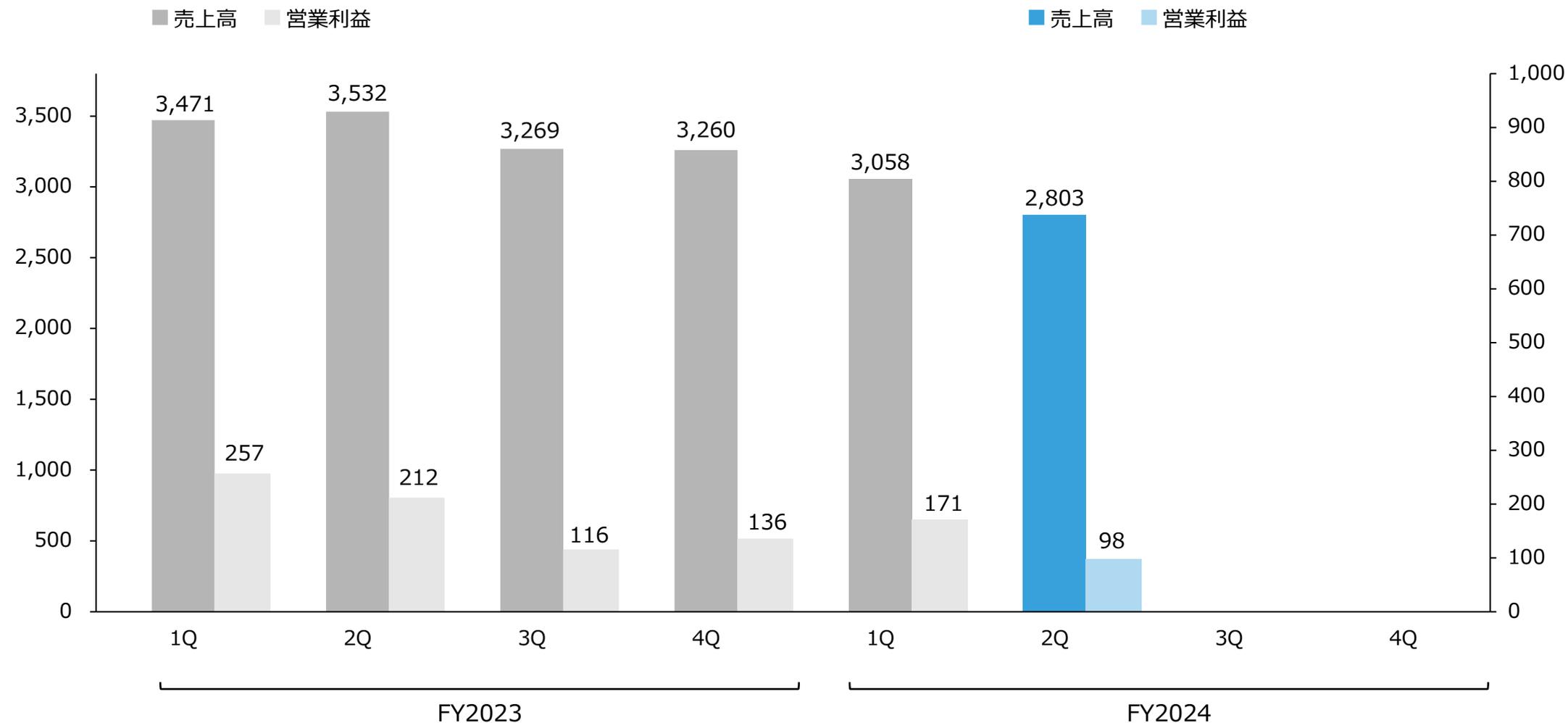
ポイント

- ✓ 売上債権の回収など営業キャッシュフローは大きくプラス
- ✓ スマートシティ事業のオフバランス化により投資キャッシュフローを創出
- ✓ 有利子負債を削減し財務が大きく改善（成長分野への投資余力を確保）

四半期業績推移（売上高・営業利益）

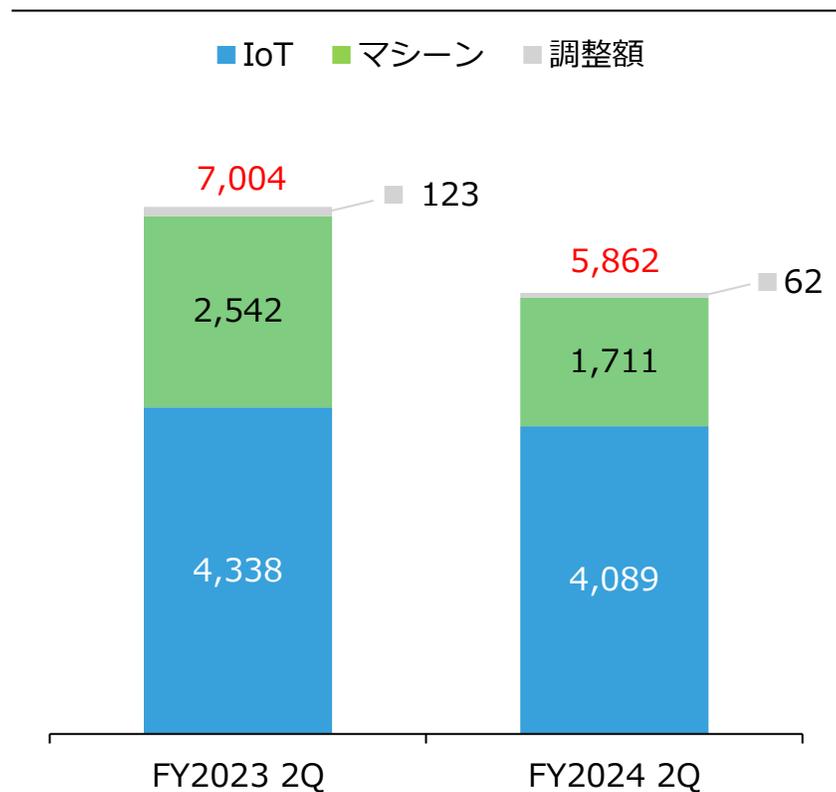
売上高
(単位：百万円)

営業利益
(単位：百万円)



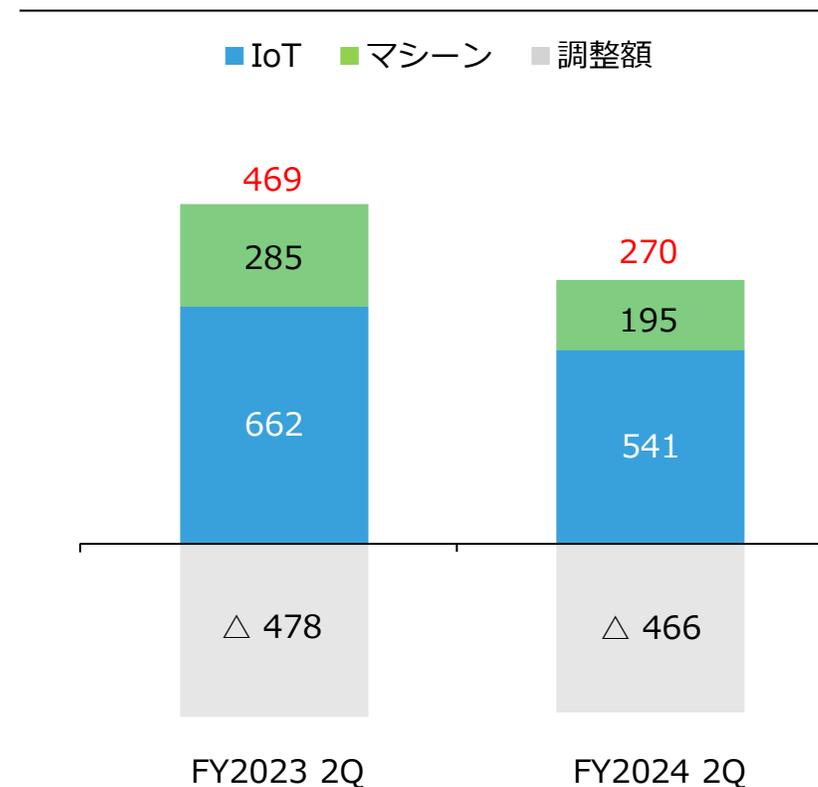
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



※スマートシティは譲渡のため調整額に変更しております。

FY2024業績予想（2Q累計・通期）

単位：百万円

	FY2023 2Q累計	FY2024 2Q累計	増減額	増減率	FY2024計画	
					通期	
					2Q進捗率	
売上高	7,004	5,862	△1,141	△16.3%	15,000	39.1%
売上総利益	2,101	1,915	△185	△8.8%	—	—
営業利益	469	270	△199	△42.4%	1,123	24.1%
経常利益	478	268	△209	△43.8%	1,092	24.6%
最終利益	342	295	△47	△13.8%	1,000	29.5%
EBITDA	698	530	△167	△24.0%	—	—

※最終利益＝親会社株主に帰属する当期（中間）純利益

収益基盤(IoT×SaaS)によるサブスク売上高

(単位：百万円)

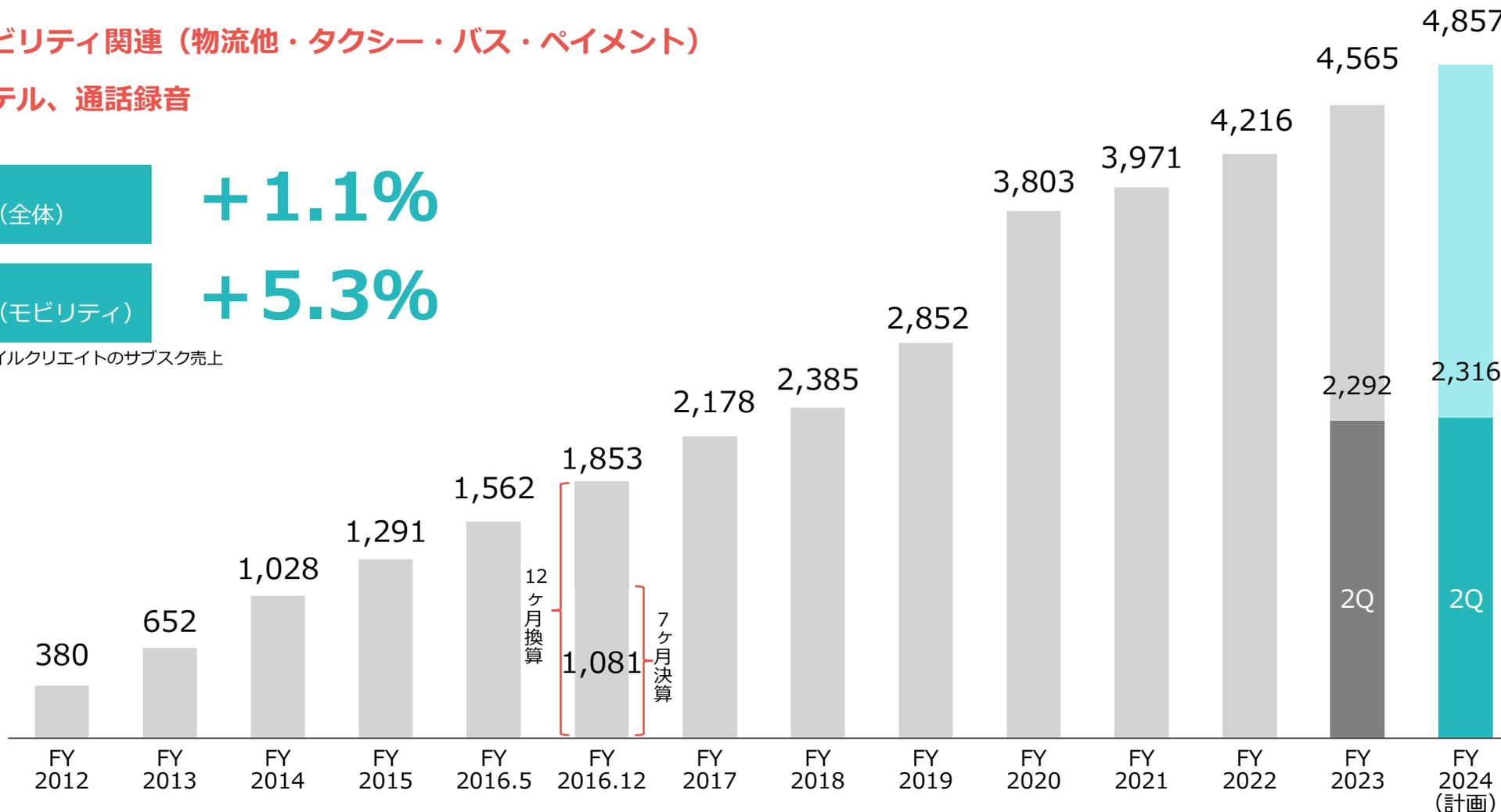
好調：モビリティ関連（物流他・タクシー・バス・ペイメント）

苦戦：ホテル、通話録音

YoY (全体) **+ 1.1%**

YoY (モビリティ) **+ 5.3%**

モビリティ：モバイルクリエイイトのサブスク売上



02 | 事業のトピックス

半導体工場をメインターゲットにAMR（搬送ロボット）を開発 GTP型AGVとともに今後の主力機として展開



FA・物流
向け

自社製AMR 「WILL-FA」 **NEW**



※イメージ

柔軟なカスタマイズ対応

手厚いアフターフォロー

- ✓ SLAM技術と画像処理技術を組み合わせることで、周囲の空間情報を認識し自律走行
- ✓ ネットワークやクラウドにより他の機器や施設内設備と連携が可能



FA・物流
向け



他社AMR +
マニピュレータ



GTP型AGV
※匠製（FIGで製造）



サービス
向け

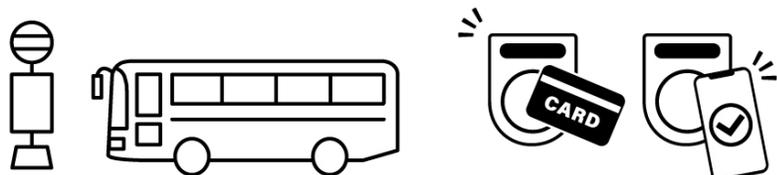


自社製AMR

バスでもクレジットカード等のタッチ決済が使える公共交通機関向け決済サービスの提供を今夏開始

- ✓ 国内における公共交通機関でクレジットカードやデビットカード等のタッチ決済で乗降できるサービス
- ✓ 国内外問わず、タッチ決済に対応したカードをお持ちの方がご利用可能（インバウンドのお客様の決済ニーズにも応える）
- ✓ 決済端末はQRコード決済にも対応

取り扱いブランド



タッチ決済のメリット



スムーズなお支払い

タッチ決済で乗降がスムーズ！
現金の準備やチャージの手間がなくなり、残高不足の心配もありません



決済手段の多様化

現金、交通系ICカードに加え、決済手段が多様化し、お客様の利便性向上



インバウンド対応

インバウンドのお客様の決済ニーズに応える

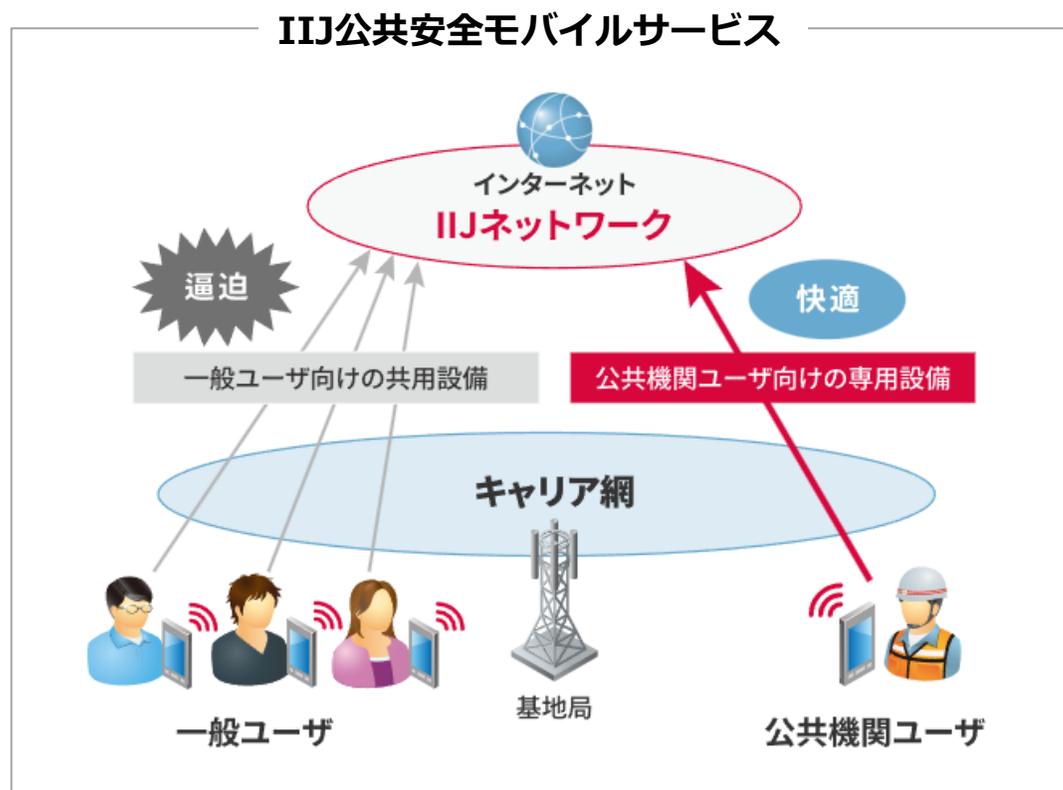


スマートフォンで
クレジットカード / QRコード決済



業務用IP無線iMESHで、政府が推進する「公共安全モバイルシステム」の対応

- ✓ 株式会社インターネットイニシアティブが、政府の方針により災害発生時に繋がらないリスクを軽減し安定した通信網を確保するために、公共機関を対象とした「IIJ公共安全モバイルサービス」を新たに構築
- ✓ 「IIJ公共安全モバイルサービス」において、モバイルクリエイイトのIP無線システムiMESH「IM-560」で正常動作を確認



※「IIJ公共安全モバイルサービス」公式ホームページ(<https://www.ij.ad.jp/biz/public-safety/>)より引用

公共機関等
平時でも災害時でも専用設備で安定した通信が可能

消防 警察 医療 自治体 防衛 ...

IIJ公共安全モバイルサービス対応デバイス

IIJ公共安全モバイルサービス専用SIM

ドコモ・KDDI

※その他別途(株)インターネットイニシアティブが指定する対象機関でご利用可能です

iMESHの全国導入台数約14万台のうち、自治体導入実績は5,000台超

安定した通信網で更なる導入拡大を目指す

プライムキャストとゼンリンデータコムが、輸配送支援システム「NexusPrime-TMS」を共同開発

プライムキャストが持つ物流業務に特化したシステム構築のノウハウと、株式会社ゼンリンデータコムの持つ地図・IoT・AI技術を組み合わせ、新しい輸配送支援システム「NexusPrime-TMS (ネクサスプライム-ティーエムエス)」を共同開発

スマートデバイス



グループの物流ソリューション拡大

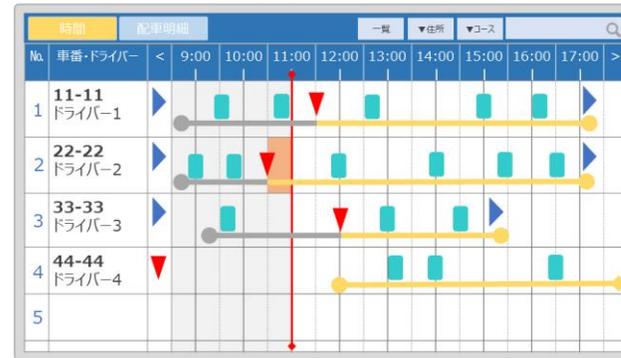
NexusPrime-TMS

- 配送管理
- 荷物管理
- 動態管理
- 運行実績情報の連携
- ドライバー端末の連動

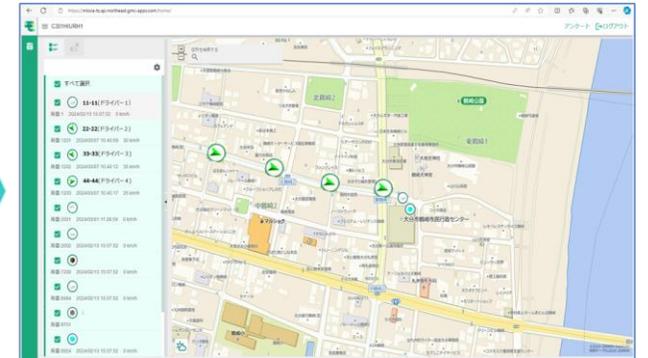
配送計画

<前週	2/5(月)	2/6(火)	2/7(水)	2/8(木)	2/9(金)	2/10(土)	2/10(日)	>翌週
No.	申請・ドライバー/納品種	1	2	3	4	5	6	
1	11-11 ドライバー-1 2t 品川ルート①	顧客Aさま ○東京都品川区XXX-1 (9:30まで)	顧客Bさま ○東京都品川区XXX-2	顧客Cさま ○東京都港区XXX-11	顧客Dさま ○東京都港区XXX-12 (15:00まで)			<input type="checkbox"/> 確定
2	22-22 ドライバー-2 4t 品川ルート②	顧客Gさま ○東京都品川区XXX-33 (9:00まで)	顧客Hさま ○東京都品川区XXX-34 (10:15まで)	顧客Iさま ○東京都品川区XXX-44 (12:00まで)	顧客Kさま ○東京都品川区XXX-55 (14:00まで)	顧客Lさま ○東京都大田区XXX-10	顧客Mさま ○東京都大田区XXX-16 (16:30まで)	<input type="checkbox"/> 確定
追加								
店舗	品川ルート①	品川ルート②	品川ルート③	品川ルート④	品川ルート⑤	品川ルート⑥	品川ルート⑦	
顧客Pさま	顧客Qさま	顧客Rさま	顧客Sさま	顧客Tさま	顧客Uさま			
○東京都品川区XXX-101 (11:00まで)	○東京都品川区XXX-102 (12:00まで)	○東京都品川区XXX-103	○東京都品川区XXX-201	○東京都品川区XXX-202	○東京都品川区XXX-301			

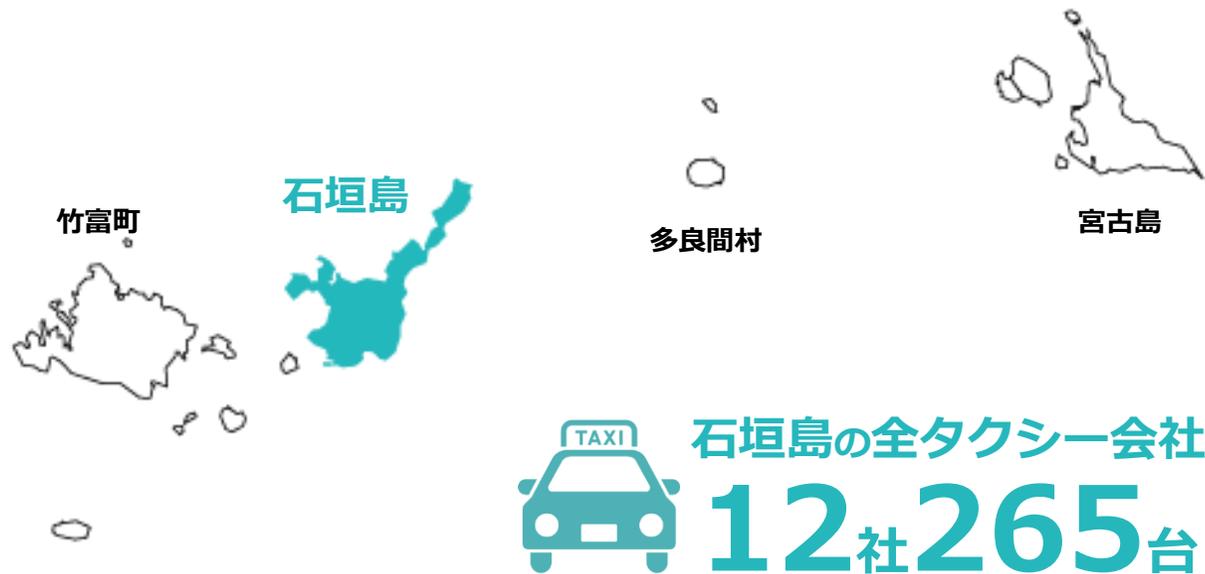
配送状況の確認画面



車両ごとの位置情報の履歴(軌跡)



石垣島 全島で使える！



- ✓ 2024年9月2日サービス開始予定
- ✓ 石垣島で運行する全タクシー会社12社、265台のタクシーが参画
- ✓ LINEアプリ内でタクシーの配車注文
- ✓ 今後は、タクシー車両を活用したライドシェアサービスの提供を見据え開発中



パースジャパンと連携し特別個室病棟27床へ導入



- 販売先 : 株式会社パースジャパン
(入院療養環境構築の分野で国内トップシェア)
- 導入先 : 東京都内の医療施設 (1施設)
- 導入病室 : 特別個室病棟
- 導入床数 : 27床
- 導入内容 : 4K-SiTVシステム
- 機能 : YouTube等動画アプリ (アカウント削除機能付き)
ミラーリング及びキャスト



※写真はイメージです

マルチメディアシステム「SiTV」の主な機能



「SiTV」

- ①インフォメーション機能
ホテルや院内の情報をテレビで確認
レストランや大浴場等の混雑状況の表示
- ②キャスト機能
VODだけでなくミラーリングやYouTube視聴など
- ③ニュース配信機能
海外ニュース配信やタブレットリモコン



AIによるSmart Societyを目指して、株式会社pluszeroと包括的な提携を開始

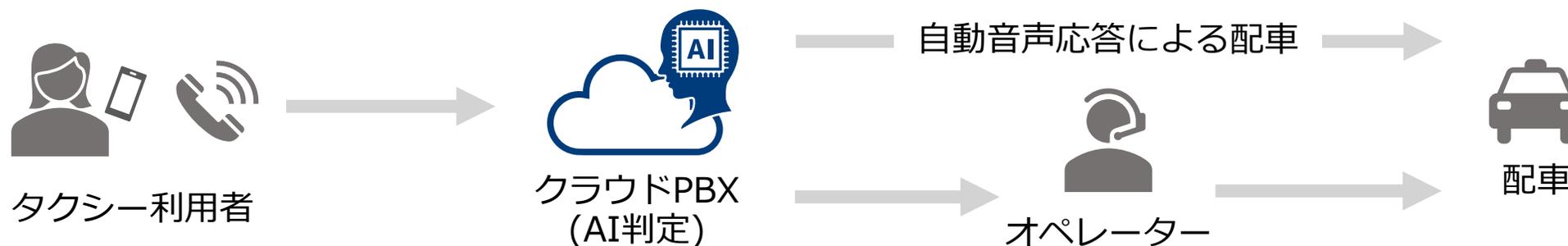


社会全体のDXと持続可能な発展に貢献

- ✓ 業務プロセスの最適化
- ✓ 品質管理の高度化
- ✓ 音声認識技術の応用
- ✓ IoTによるデータ管理の高度化

第1弾

タクシー配車AI連携を開発中、オペレーターの負担を軽減するシステムを目指す



03 | 転換社債と新株予約権の発行

第1回無担保転換社債型新株予約権付社債及び第5回～第6回新株予約権（行使価額固定型）の発行

	第1回転換社債	第5回新株予約権	第6回新株予約権
割当予定先	マッコーリー・バンク・リミテッド		
調達予定金額合計(a)	23.4億円		
各調達予定金額(a)	5.0億円	7.9億円	10.5億円
目的である株式数	1,204,819株 (1,218,616株の自己株式を優先充当)	1,500,000株 (全て新株式を充当)	1,500,000株 (全て新株式を充当)
当初転換価額/行使価額 (ターゲット価格)(b)	415円 (2024年7月22日終値対比+19.94%)	525円 (2024年7月22日終値対比+51.73%)	700円 (2024年7月22日終値対比+102.31%)
対発行済株式数(%) ^(c)	3.8%	4.8%	4.8%
期間	2024年8月9日～2027年8月9日		
転換価額/行使価額修正条項	9か月に一度修正あり (下方にのみ修正。但し、下限転換価額は 2024年7月22日終値対比90%の311円)	無し 行使価額の修正は行われません	
買入消却	割当予定先との合意により 可能	転換社債の償還もしくは転換後いつでも、15営業日以上 の事前通知により、残存新株予約権を発行価額で取得消却可能	

a. 新株予約権が行使価額に基づき全ての新株予約権が行使されたと仮定して算出した、新株予約権の行使に際して出資される財産の価額の総額を合算した金額です。

b. 2024年7月22日当社株価終値346円を規準に算出しております。

c. 2024年6月30日時点の発行済株式数31,474,315株を基準に算出しております。

具体的な用途		金額
1.	自動搬送ロボットの企画から設計・開発、製造、アフターメンテナンスまでをワンストップで提供する福岡のスタートアップ企業 匠社への成長資金投資	1,700百万円
2.	ロボットのソフトウェア開発による制御の高度化	360百万円
3.	ロボット導入の月額定額制のサブスクリプションモデル化	276百万円
合計		2,336百万円

- ✓ 現中期経営計画は新たな成長基盤の確立ステージであり、
次期中期経営計画に向けた成長ドライバーをロボットと位置づけ
- ✓ 2027年までにロボットの売上高50億円以上が目標
国内を代表する搬送ロボットメーカー、GTP型AGVでは純国産メーカーNo.1を目指す
※匠社が提供

本資金調達は、あくまでも中期的な当社財務戦略の一環であり、当社が本資金調達において想定する資金調達が結果として達成されない場合においても、不足分は自己資金の充当、借入等の方法により対応する予定です。

04 | 補足資料

セグメント別業績（四半期推移）

単位：百万円

売上高	2023年12月期					2024年12月期					前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	増減額	増減率
連結	3,471	3,532	3,269	3,260	13,534	3,058	2,803			5,862	△1,141	△16.3%
IoT	2,217	2,120	1,939	2,083	8,361	2,168	1,920			4,089	△249	△5.7%
マシーン	1,191	1,350	1,268	1,114	4,925	832	879			1,711	△830	△32.7%
調整額	62	61	61	62	247	58	4			62	△61	△49.8%

営業利益	2023年12月期					2024年12月期					前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	増減額	増減率
連結	257	212	116	136	723	171	98			270	△199	△42.4%
IoT	445	217	226	291	1,181	324	216			541	△121	△18.4%
マシーン	60	225	124	123	534	75	119			195	△90	△31.5%
調整額	△248	△229	△235	△278	△992	△228	△237			△466	+12	-

※スマートシティは譲渡のため調整額に変更しております。

単位：百万円

	2023年12月期末		2024年12月期2Q			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	補足
流動資産	15,215	66.6%	11,331	64.4%	△3,884	リース投資資産 △2,678 受取手形、売掛金及び契約資産 △1,140 棚卸資産 +14
うち現預金	2,203	9.6%	2,131	12.1%	△71	
固定資産	7,620	33.4%	6,275	35.6%	△1,344	建物及び構築物 △843 土地 △990 投資有価証券 +561
資産合計	22,835	100%	17,606	100%	△5,228	
流動負債	6,645	29.1%	5,144	29.2%	△1,500	支払手形及び買掛金 △355 短期借入金 △1,097 未払消費税等 +166
固定負債	6,595	28.9%	2,563	14.6%	△4,031	長期借入金 △3,991
負債合計	13,240	58.0%	7,708	43.8%	△5,532	
純資産合計	9,595	42.0%	9,898	56.2%	+303	
負債・純資産合計	22,835	100%	17,606	100%	△5,228	

経営理念

想像と技術と情熱で快適な未来を創造

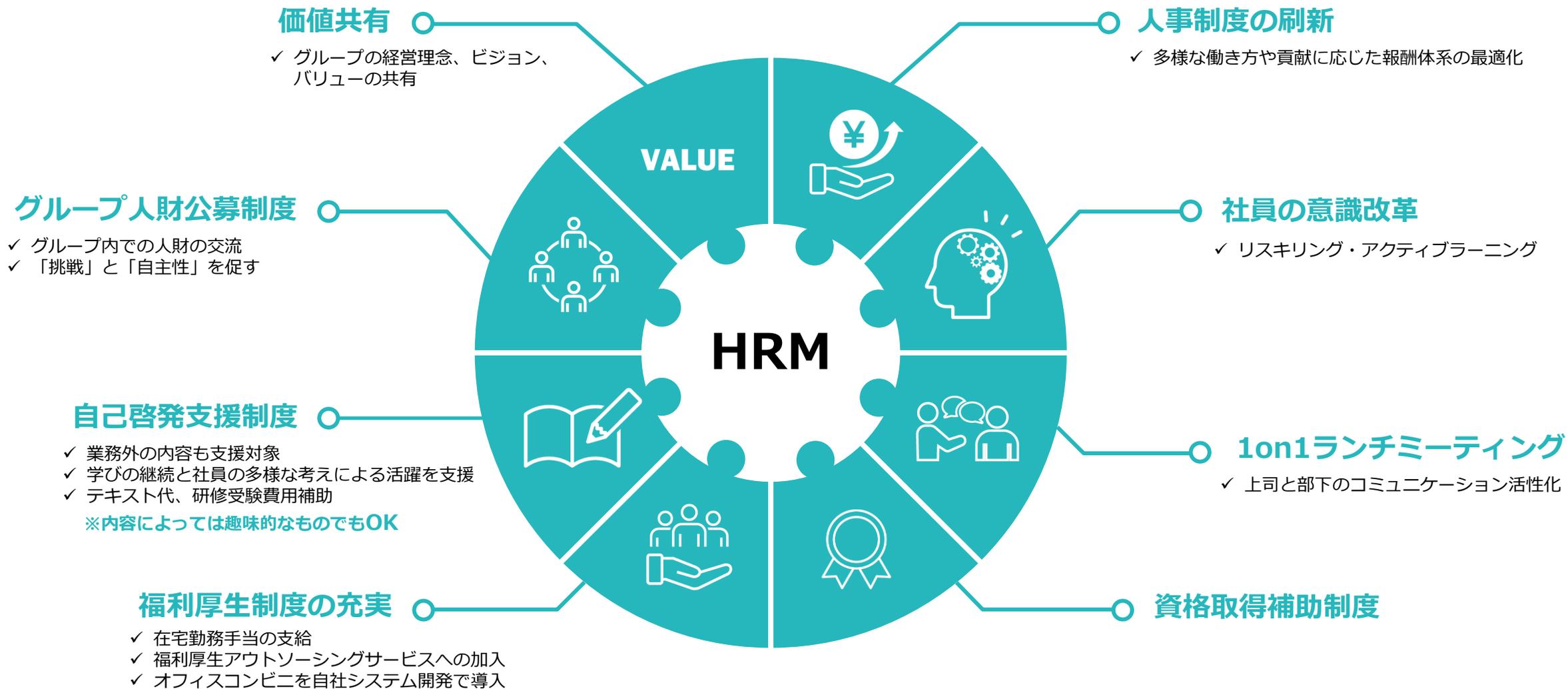
Vision

笑顔になれる企業グループ

- 優秀な人財が集い、成長と自己実現を両立し、ワクワクとした仕事ができるグループ
- お客様に新しい価値を提供し「ありがとう」と言われる企業グループ
- 健全で適正な利益を生み、社員とその家族を幸せにし、そして株主にも満足してもらえるグループ

FIGグループのValue

- ベンチャー精神を忘れず、現状維持には満足しない
- リスクのないところにチャンスはない、情熱を持ってチャレンジを続ける
- 慈愛の精神を忘れず、相手の事を考えるのを忘れてはならない
- 行動は正しくなければならない
- 知能だけでなくセンスが大事、行動し経験を積むことで養われる
- 物事を俯瞰して見る、角度を変えれば見え方も変わってくる
- 正しく伝えることは難しく、伝える力が財産になる
- コミュニケーションを大切にし、グループ会社とその組織は横断型でなくてはならない
- スピード自体が大きな価値になる
- どうやれば出来るか、諦めるのは最後の選択



ESG・SDGsの視点を取り入れた事業戦略でサステナブル経営を目指す

FIG ESG

Environment

ITで地球環境負荷低減へ貢献

- 自社の製品・サービスによる環境負荷低減
- 事業活動で排出される廃棄物削減、資源化率の向上、自然エネルギーの利用
- 有害物質使用削減への取り組み
- 地域環境の保全



Social

グループの技術で快適な未来を創造

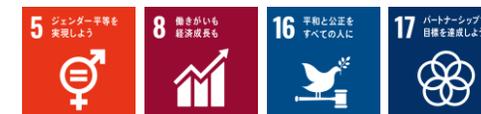
- Society5.0の社会を支える技術・サービスの提供（ドローン・ロボット）
- 持続可能な地域交通に貢献する（バス・タクシー）
- キャッシュレス化社会の実現に貢献する
- MaaSの普及に貢献する
- 防災・減災・安全に貢献する
- スマートホテルを実現する技術の追求
- はたらきやすさ（健康増進・ダイバーシティ推進）を提供する



Governance

経営基盤を強固にするためのガバナンスの強化

- コーポレート・ガバナンスの徹底
- 社外役員の登用
- 役員報酬額の決定方法
- コンプライアンスの順守・研修の実施
- 反社会的勢力排除への対応
- 情報セキュリティの強化

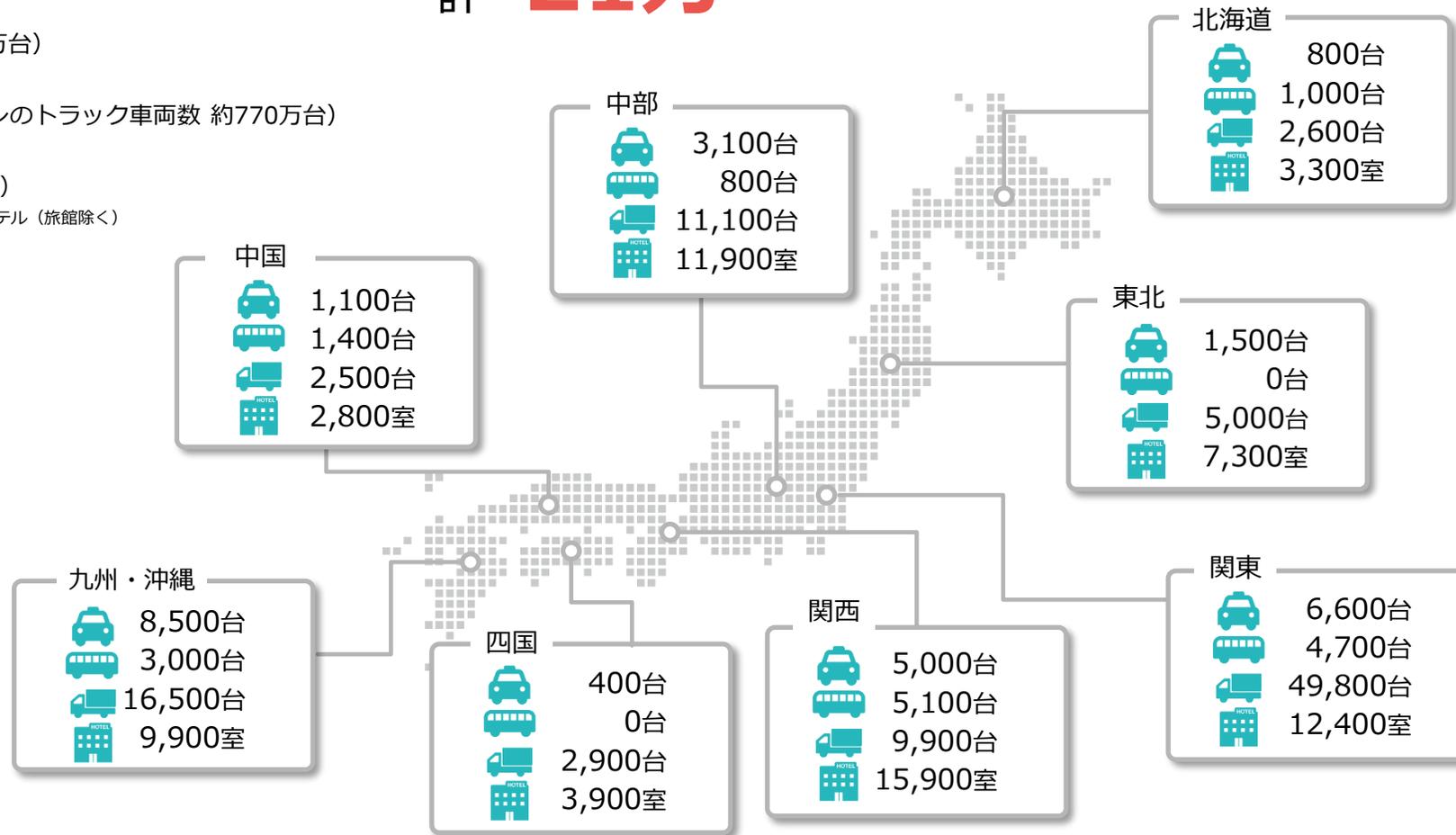


顧客基盤（月額サービス契約数）

2023年12月時点

-  タクシー 約27,000台
(シェア13%、タクシー車両数 約20万台)
-  バス 約16,000台
(シェア28%、乗合バス車両数 約5.7万台)
-  物流他 約100,300台
(IP無線車載タイプシェアNo.1、メインのトラック車両数 約770万台)
-  ホテル 約67,400室
(シェア6%、ホテル客室数 約115万室)
ホテル：ビジネスホテル、シティホテル、リゾートホテル（旅館除く）

計 **21万**





【 連絡先 】 F I G株式会社 経営企画本部
【 住所 】 大分県大分市東大道二丁目5番60号
【 T E L 】 097 - 576 - 8730

本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。